

ささりんどう

鴻巣市立箕田小学校 学校だより 令和5年3月1日

学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数
男子 154名
女子 151名
合計 305名

校章の笹竜胆（ささりん
どう）は、箕田源氏の旗
印です



竹のようにまっすぐ、しなやかに

～ 1年間のまとめと成長を確認しよう ～ 校長 齋地 満

やわらかな陽ざしに木々や草花の芽も膨らみ始め、春の訪れを感じる季節となり、令和4年度も残すところわずかとなりました。先日の授業参観・懇談会では、子供たちの成長の姿を見ていただけたことと思います。今後は、一人一人が学年の学習内容をしっかりと身に付け、4月によいスタートが切れるよう、取り組んでまいりますので、ご家庭でも励ましや声掛けをお願いいたします。

さて、竹は、雪の重みにも強い風雨にも耐え、空に向かって真っすぐに成長します。他の木々にはない、たくさんの節目をもち、風を竹全体で受け止めるしなやかさと、何十キロにも及ぶ雪を反り返って跳ね返す力強さをもっています。そのたくましさの秘密は、節にあります。竹は、一本あたり60個ほどの節があり、その全てに成長点があるため、1日に1メートル以上成長することもある成長の早い植物です。しかし、ただ上へ上へと伸びたのでは、自分自身を支え切れなくなってしまうことから、丈夫な節が必要となります。また、根にも秘密があります。竹は、種から発芽するまでに4年以上もかかり、その間に地下で1年間に7～8メートルもの根を張って地上の竹を支えます。やがて、芽を出した竹は、2ヵ月弱で20メートルにもなります。目に見える成長の姿には、目には見えない支える力とのバランスが重要となっているのです。



子どもたちの成長も、竹に似ているのではないかと感じます。この1年間における各教科の学習や学校行事、友達や先生とのかかわり等をそれぞれの節と考えると、一つ一つに成長点があり、個々で成長の伸び幅も変わってきます。節全体が同じように伸びる子もいれば、いくつかの節が際立って伸びる子もいることでしょう。そして、トータルで見れば、どの子もまっすぐ、健やかに育っています。この先、強い風や重い雪のような困難があったとしても、コツコツとがんばって丈夫な節を作っていれば、しなやかさをもって、跳ね返すことができることでしょう。そのためにも、保護者と地域、学校が根としての役割をしっかりと担い、連携して張り巡らせ、子供たちの成長を支えることが大事だと考えます。

最後になりますが、保護者及び地域の皆様には、子供たちの健やかな成長のため、1年間教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。職員一同心よりお礼申し上げます。

★ お知らせ

～ 来年度の運動会の日程について ～

懇談会にて担任より連絡いたしました。来年度の1学期末から東校舎屋上の改修工事が始まります。改修工事は、夏休みを中心に行いますが、仮囲いの設置や関係車両の出入りがあるため、校庭が狭くなります。また、工期が10月以降まで伸びることも想定し、**来年度の運動会を6月3日（土）に予定しています。**なお、内容や予備日等の詳細につきましては、改めて来年度にお知らせします。